

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

事業所名: 羽島市発達支援センター「発達教室もも」

公表: 令和6年4月5日 調査時期: 令和6年3月

職員数: 11 回答数: 11 (割合100%)

環境・体制整備		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10		※1名無記入	
2	職員の配置数は適切であるか	11			現在の配置を維持する
3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11		子どもたちにわかりやすいように、部屋に動物マークをつけてある	部屋からトイレまでの動線におもちゃコーナーがあり気が逸れやすいので、改善を考えたい
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11		・手洗い場の床が濡れた時、こまめに拭けるようにタオルを常備している ・怪我のないように危険な所は改善するようにしている ・定期的に業者の清掃が入っている	
業務改善		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	2		・支援後の振り返りの時間を作れるといい
6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	1		
7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	1		
8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	10	1		
9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11		・各自年3回以上研修を受けている ・積極的に参加するよう、上司の促しがある。	他の事業所への参観をしたい
適切な支援の提供		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	11			
11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	1		
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11			
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11		支援計画をもとに、個々に必要な支援を活動内容に合わせて考え実践している	
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11		定期的に話し合いの時間をもっている	
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11		前月の活動を踏まえ、月ごとに朝の会の内容やグループ活動の内容を職員みんなで考えている。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	11		・情報を共有し、計画にそっているか話し合っている。成長に合わせて、児と相談しながら、集団への参加方法を考えている。 ・個々の様子に合わせてグループを作って活動できる	
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	2	職員同士、個々に情報共有をしている。グループ活動の打ち合わせをしている。	ホワイトボードに掲示する等で共有する方法を工夫したい

18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	2	子どもの変化があった時は必ず相談するようにしており、原因と今後の支援のあり方を考えている。	当日全職員で集まることは難しいが、2～3分ずつでも情報共有する習慣をつけたい
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11		・支援員同士で話し合っている ・管理者チェックがあることで、しっかり記録し見直しができる	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	11		相談事業所の支援計画を連動させている	ももがどのようなところなのかを知らない人がまだまだ多いので、ホームページや会報を整備して、広く知らせるとよい
関係機関や保護者との連携		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	1	担当指導員や児童発達支援管理責任者が参加している	
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	11			
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11		園訪問や担任と話す機会を設けている	
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11		・年度末に連絡会を実施している	
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10	1		
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	5		発達の状況に関わらず参加できる行事などを考えたい。
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8	3		
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11		連絡ノートの活用。送迎時の情報交換を心掛けている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8	3	親子行事を行っている	・前向きに子育てしていただけるように、一緒に活動しながらお子さんについて共有理解したい ・保護者が参加できる研修や、しゃべり場の準備ができるといい ・支援中にうまくいった具体例をアドバイスする時間があるとよい
保護者への説明責任等		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	1		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	11			
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11		・連絡ノートでやりとりをしている ・送迎時に情報共有をしている	
35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	4		・コロナ禍も終息したので、積極的に機会を模索する ・保護者同士の懇談会があるとよい
36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11		送迎時、保護者の様子や変化に気をかけている	

37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	2		ももがどのようなところなのかを知らない人がまだまだ多いので、ホームページや会報を整備して、広く知らせるとよい
38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	11			
39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11			
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	4		修了児との交流がもう少しあるとよい
非常時等の対応		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	11			
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11		年に数回避難訓練を実施し、反省会をしている。	
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10	1		・その日の健康状態で、対応基準があるとよい ・担当支援員しかわかっていないことがあるので、発作やアレルギー等は全体でわかっているとよい
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	11			
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11			ヒヤリハットかどうかの基準を徹底するとよい
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11		関わりの中で強いことばや激しすぎる接触が散見されるため、職員会や研修等で注意喚起がある	支援時の動画撮影を行い、自分で言動を振り返り直す機会を作る。チェックリストで言動の修正をする機会にする
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	10	1		